

演劇を通して
地域の課題を知る
対話を通して
違いを乗り越える

産業社会と人間

「演劇を通して地域の課題を知る」

- ・「産業社会と人間」の中で実施。
- ・地域の大人へのインタビューを通して地域の課題を捉え、それを基に対話劇を創作する。
- ・地域の大人たちの視点で物事を見つめ、そこで出てきた課題と向き合い、2年次以降の未来創造探究での活動に繋げていく。



講師：平田オリザ先生
青年団主宰 劇作家/演出家

私達にとって、分からないこと

○どこか他人事に感じてしまう、地域の問題

○その地域の問題と向き合い続けている大人の気持ち

○自分と違う考えを持つ人の気持ち



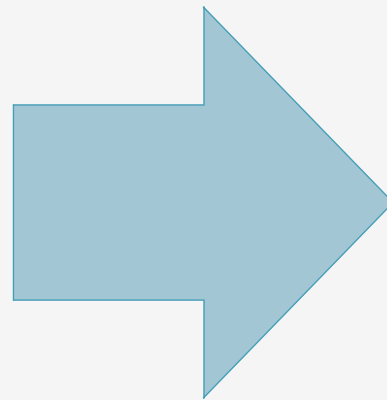
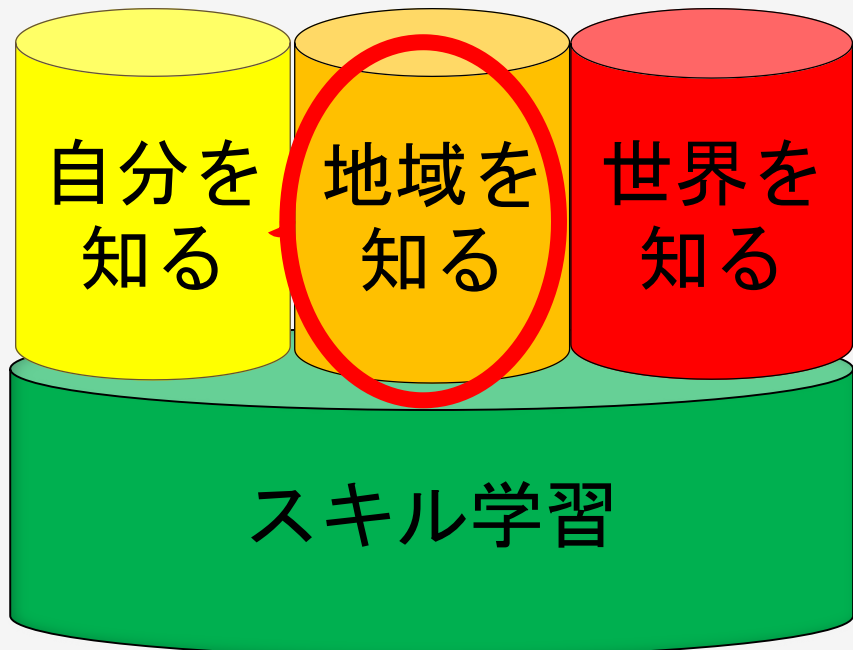
演劇にすることで、他者を演じ、想像してみる。

他人事を自分事として考えてみる。

「自分だったらどうだろう・・・」

■課題を知る学習に取り組む意義

- ・ 双葉郡の現状と課題を実際に自分の目で見て、この地で学ぶ意義を考えさせる。
- ・ 被災・避難者の声に耳を傾け、震災と原発事故の教訓、双葉郡・福島ならではの課題を知る。



2・3年次
未来創造探究へ

地域を知る学習 1年の流れ



地域を自分の目で見る・地域を知る

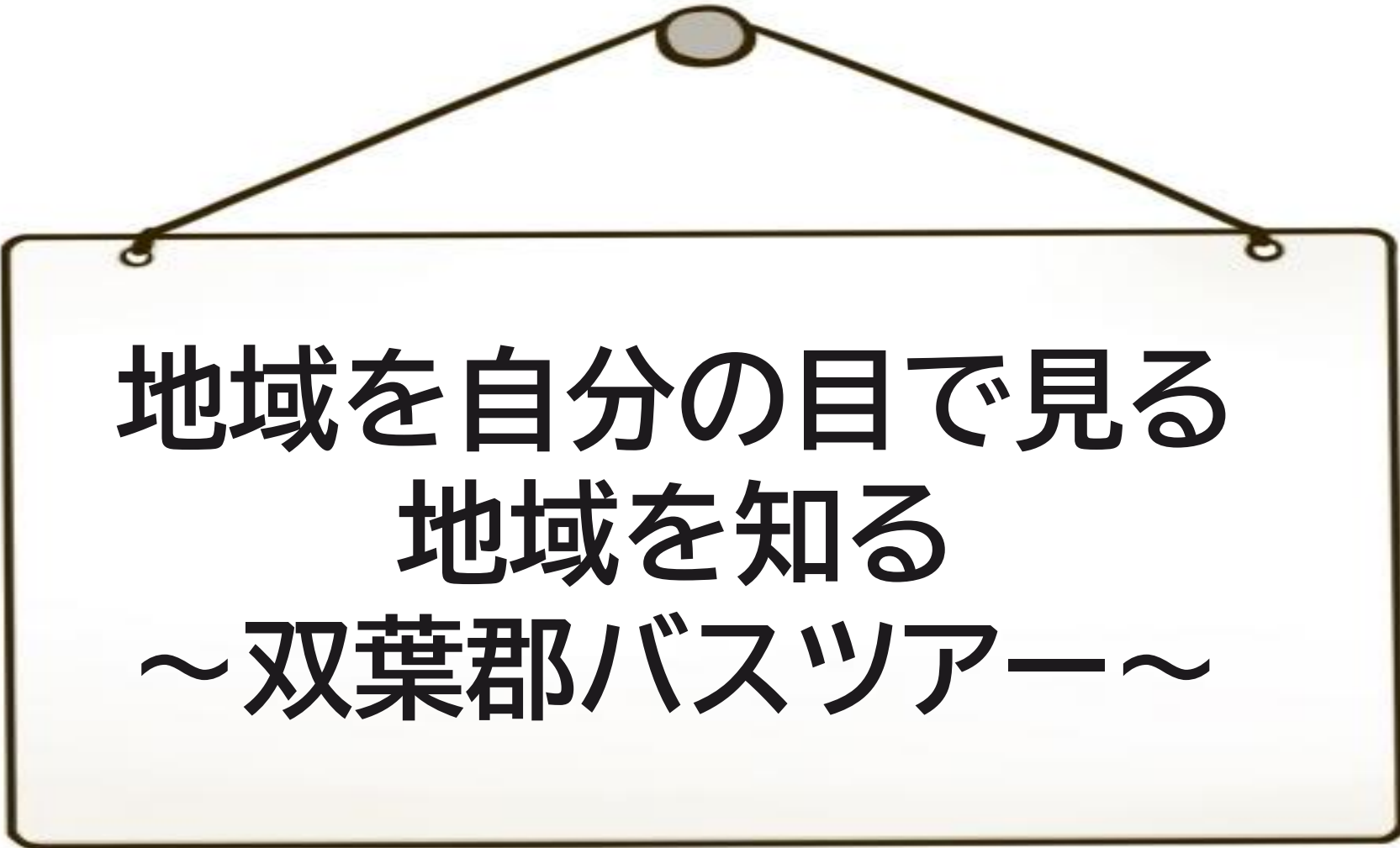


地域の「仕事」や「人」に触れる



地域の課題について調べ、演劇にする





地域を自分の目で見る
地域を知る
～双葉郡バスツアー～

3 具体的取り組み(高校) (1) 地域の復興の課題を見つめる



○ 震災・原発事故による課題との遭遇

震災時に小学校1～3年生であった生徒たちは、双葉郡の課題、特に震災時にどのようなことがあり、大人はどのような悲しさや悔しさに直面をしたのかを知っているようで知らない。

現実を知り、受け止めるところから学びを始めて行くために、1年次では入学後に各町村へ複数回に分けてバスで訪問する「課題遭遇」の機会を設定。

- ① ふたば未来学園で学習するにあたり、双葉郡の現状を実際に自分の目で見て、この地で学ぶ意義を考える。
- ② 被災・避難者の声に耳を傾け、震災と原発事故の教訓、双葉郡・福島ならではの課題を知る。



■コースの紹介

7/3 富岡町コース①

語り部：青木淑子さん
(富岡町3. 1. 1を語る会)

富岡駅、富岡小中学校
夜ノ森桜並木のバリケード
観陽亭、商店街、富岡高校

7/3 富岡町コース②

語り部：渡辺 好さん
(富岡町3. 1. 1を語る会)

①と同じ
(ルート逆)

7/3 浪江町コース

語り部：蒲原文崇さん
(浪江町役場)

浪江町役場、JR浪江駅
道の駅予定地、請戸漁港
なみえ創成小・中学校

7/10 双葉町・大熊町 コース

語り部：渡部千恵子さん
(NPO法人大熊町ふるさと応援隊)

シウ神山災害公営住宅
岩沢海水浴場
大熊町給食センター

7/10 楡葉町コース

語り部：松本昌弘さん
(楡葉町役場)

J-village
楡葉町南工業団地
ここなら笑店街

7/11 広野町コース

語り部：磯辺吉彦さん
(広野わいわいプロジェクト)

広野駅東海岸
大滝
二つ沼公園ドーム
広野町振興公社



浪江町









地域の人や仕事に触れる

～地元のヒーローインタビュー～

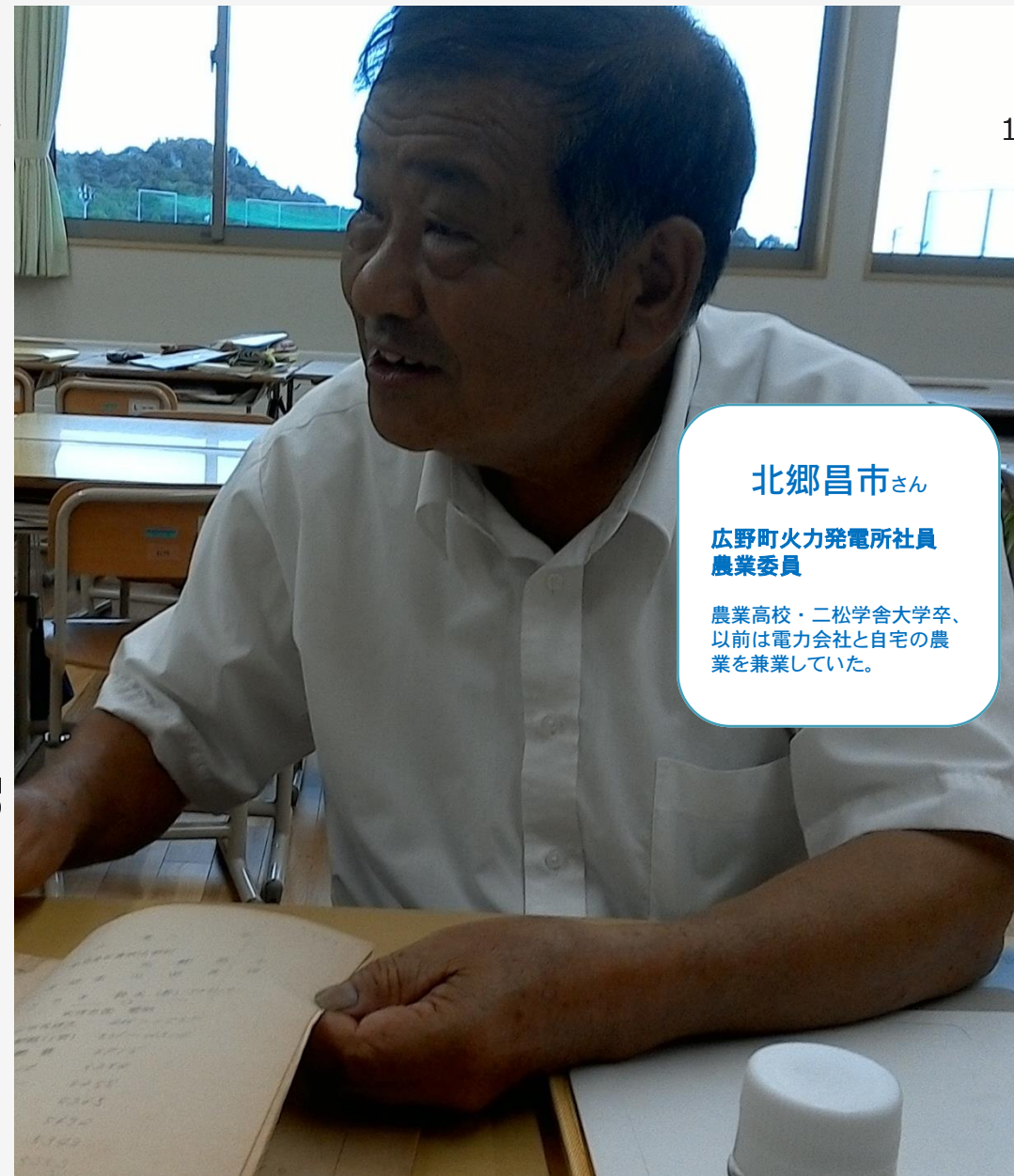
～



「聴く力を育てる
ローインタビュー」

和元年9月18日(水)
校時 場所：みらいシアター





北郷昌市さん

広野町火力発電所社員
農業委員

農業高校・二松学舎大学卒、
以前は電力会社と自宅の農
業を兼業していた。

野菜をわが子のように愛す 農業委員・火力発電所社員

ふたば未来学園Ⅱ光が丘未来学園 輝く未来に向かうように夢を持ち続けてほしい

北郷さんの生きる世界

北郷昌市さん(仮)は広野町の折木出身。高校で北海道へ行き、農業を学び、広野町に戻って広野の貢献をしている人である。

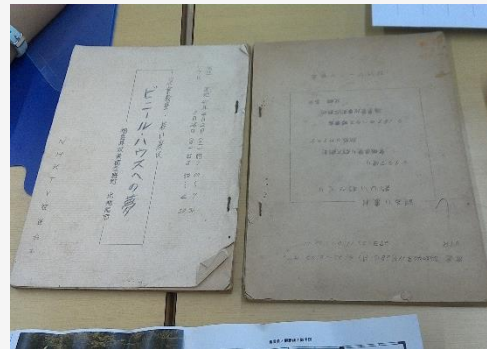
北郷さんは双葉農業高等学校(現双葉翔陽高等学校、休校中)出身であり、その研究制度で、野菜を作って売り出すという機会があった。その後、「歳で農業用の軽免許を取り、農業の仕事に就いた。

北郷さんに農業の楽しさとは何かと尋ねたところ、多くのことを語られた。育てている植物は自分の子供の成長と同じだ、一から育ててそれがすくすく育っていくのを見ると嬉しいと語られた。冬場の寒い中、ビニールハウスに入ると暖かく、その感じも気持ちよい。そのようにも語られた。

農業は非常に奥深いものである。わたしたちは北郷さんの話からそのような



熱弁を披露してくださった北郷さん



テレビに出演した時の台本

北郷さんは地元の後押しも含めて、火力発電所でも働くようになった。昭和30年から働いているため、20年も働いていることになる。主な仕事は、発電量の調整、日々の点検や運転の監視、トラブルの未然防止である。北郷さんはもちろん、あの東日本大震災の影響もうけた。しかし、発電所は関東エリアにも電力を送っているため、すぐに活動を再開しなければならなかった。なんと、その年の5月の連休には職場へと赴いていたそうだ。

現在、あの震災から8年半。北郷さんは今も働いている。

未来への夢 北郷さんの想い

北郷さんは口々に「夢」というワードを多くおっしゃっていた。それには、北郷さんが農業にかけていた思いが大きく関係している。

北郷さんが農業高校時代、「メロンを育てたい！」という強い思いがあったそうだ。はじめはそれは無理だと断られたそうだが、

～編集後記～

私たちは北郷さんの夢を追いかけて自分の仕事に誇りを持つ姿勢に感銘を受けた。北郷さんのおっしゃった「光が丘未来学園」とは、私たちの夢を追いかけていく理想像を表した言葉であると考えている。夢を持ち続けていると、その後挫折をしても、様々な方向へ進められる、そのようなことを教わった。今回の話は演劇作成にも、今後の人生にも使っていこうと思う。

のちにその思いが伝わり、普段作る作物に加えてメロンも育てることができたのだ。また、北郷さんはこんなことも語られた。「高校の時に考えていた夢とは違い、思いもよらない方向へと進んでいった人もいた。それでも、自分自身が向いていると思った方向へと進んでいる。」

このようなところからも、わたしたちは夢の大切さを教えてもらえる気がした。私たちはインタビュ後に様々な感情を抱いた。「理想と現実はずいぶん一致するわけではない。」「夢を見つけていきたい。」「北郷さんの姿を見て、これからの自分たちの生活に生かしていきたい。」最後に、北郷さんがおっしゃった。「わたしへのメッセージをここに記したい。」

「若い人は夢を！ 突っ走ることも大事。いろいろなところに行くかもしれないが、それでも、若いものだから。夢を！」

志賀裕一さん

広野町役場職員

この若さで驚異の40歳👀
 家族を愛し、町を愛するイケメン公務員！
 その休日の姿は、なんとサーファー！
 そんな志賀雄一さんにインタビューしてみました！



あの時私は公民館 広野町役場職員

厭々公務員から始まった

広野町影のヒーロー

広野町に昔の活気を！

今からおよそ20年前の平成5年、志賀さんは当時なるつもりでなかった現場職員になりました。それは、役場で課長をしていた志賀さんの叔父さんがなくなつたから。親にやってみると言われ、厭々公務員になつたのが始まりでした。しかし、それも今では過去のこと。今ではそんな程、昔の町の活気を取り戻したいと力強く語るなど、強く町の復興を望み、町のことを想っています。

この広野町が地元だという志賀さんは、人々にぎわう商店街も、そこにあつた駄菓子屋も知っています。だからこそこの思いなのでしょう。

そして仕事にも一生懸命なら家族にも一生懸命な志賀さんは奥さんと子供三人の家庭を持つ一家の大黒柱！日ごろから家族との時間を大切にしようという心がけています。

休日は家族サーブスをこなし、たまに趣味の波乗り。震災があつたからこそ、家族との時間を大切にしようとおもえるのだと、志賀さんは語りました。

そんな志賀がつらかつたこととして語つたのは避難生活のことでした。これからそのことを話そうと思います。



震災当時、公民館で仕事をしていた志賀さん。当時志賀さんの奥さんの中には赤ちゃんや居たうえ、双子の姉妹はまだ二歳。更に志賀さんの実家は海沿いになりました。幸い全員ぶじ無事だったものの、その時の心労は計り知れません。しかしほっとしたのも束の間、志賀さんは家族と離れ、半年もの間過酷な体育館での避難生活を送りました。奥さんや子供達の体を気遣い、奥さんたちはその間神戸に。それから一緒に暮らせるようになるまで、なんと五年の月日を要しました。

家族と離れて過ごした体育館

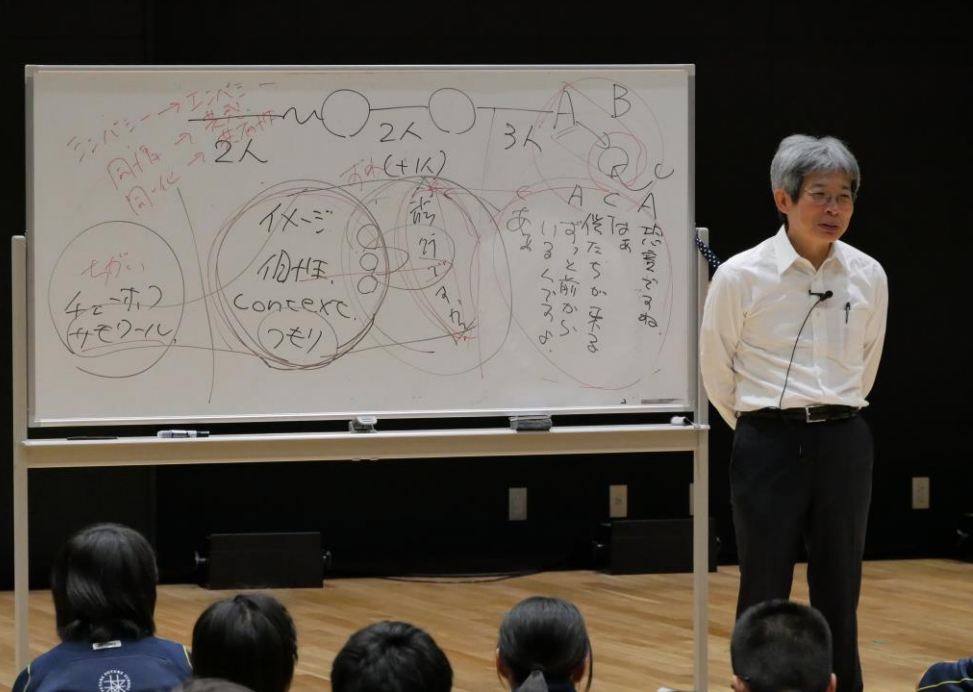


～伝えたい言葉～

職員だけでは
 できないことに
アピールを！



地域の課題について調べ
演劇にする







地域の課題について調べ、演劇にする

演劇創作のためのインタビュー＆FW

1 1月19日（水） 5・6校時

学校に招待し、インタビューを実施

1 1月27日（水） 5・6校時

現地に出向き、FW&追加インタビューを実施

今年度のFW先一覧

1班:東京電力福島復興本社
2班:東京電力福島復興本社
3班:中間貯蔵・環境安全事業
株式会社(JESCO)
中間貯蔵工事情報センター
4班: //

5班:NPOハッピーロードネット

11班:楡葉中学校
12班:ふたばいんふお
13班:特別養護老人ホームリリー園
14班:四倉屋精肉店
15班:NPO富岡町3.11を語る会

6班:双葉地方広域市町村圏組合
消防本部楡葉分署

7班:Jヴィレッジ

8班:中間貯蔵・環境安全事業株式会社
(JESCO)中間貯蔵工事情報センター

9班:NPO富岡町3.11を語る会

10班:広野こども園

16班:医療法人社団養高会 高野病院

17班:木戸川漁業協同組合

18班:NPO法人みかんクラブ

19班:広野こども園

20班:中間貯蔵・環境安全事業
株式会社(JESCO)
中間貯蔵工事情報センター

地域の課題について調べ、演劇にする

12月2日（月）～6日（金）演劇創作

地域の課題について、グループで演劇にしていく。
平田オリザさんや、プロの俳優さん達によるサポートも。

12月2日(月)	プロット作成(ワークシート①②)
12月3日(火)	午前:プロット作成 午後:コミュニケーションWS
12月4日(水)	台本づくり
12月5日(木)	午前:中間発表(クラスごと) 午後:稽古
12月6日(金)	成果発表会@みらいシアター

対話劇をつくる上でのルール

一つの主義主張を伝えるのではなく、異なる価値観や意見を持った人々が登場し、戸惑ったり、理解し合ったりしながら対話を進めていく演劇。



1. 予定調和の劇にせず、問題の複雑さを表現する。
2. はっきりとした悪者は登場させない。
3. 立場や考え方の違いによる難しい課題をそのまま表現する。
4. 全国や世界の人に福島の問題を理解してもらえ、共感してもらえ部分を見つけ出し、広げていく表現をする。

対話劇をつくる STEP 1

ワークシート① 場所・背景・問題を設定する

場所は色々な人が出入りしやすい半公的空間がよい。

背景：対処や意見が分かれやすい問題を考える。

【対話劇を創ろう①】場所・背景・問題を設定する

場所（空間）：色々な人が出入りしやすい半公的空間 例）職員室、ロビー

・避難所（草野川中）

背景（時間）：人が出入りしやすい時間 ※どんな状況かも書く 例）引越、祭の準備

・避難所での生活。3~4日くらい。11時。3/4（月）（昼）
↓
震災後

問題（運命）：複数の人が抱える運命、対処や意見が分かれやすい問題

※主人公ひとりではなく、中心部が抱える問題、外的な要因ではなく内面的な問題・悩み

・リリ-国・職員同士がうざい。
(家族と利用者どちらと優先するのか。)
・作々木さん
・お母さんか認知症で周りを困らせる。
・周国からお母さんの倒れを見つけていいのかと悩む。
・利用者の介護
・ふにモリセーションとみ場をいかにして食べさせる。

※対話劇とは：一つの主義主張を伝えるのではなく、異なる価値観や意見を持った人々が登場

し、戸惑ったり、理解し合ったりしながら対話を進めていく演劇

対話劇をつくる STEP 2

ワークシート② 登場人物を設定する

- ・ 内部（中核になる集団、問題を抱える人々）
- ・ 中間部（内部と関係のある人々）
- ・ 外部（問題をもたらす人々）

【対話劇を創ろう②】登場人物を考える

内部（3人くらい）：中核になる集団、問題を抱える人々

名前	役柄（どんな人？どんな考え？）※考え方や立場の違いを詳しく
佐々木さん(1人) と 上司	優しい、人思い。利用者側に残り。 不子... いっまでも避難生活か。 続しつかない...
職員・人トウ(1人)	
職員(A) (B)	
	利用者側に残り 家族の元へ帰りたい。 家族の元へ帰りたい。 迷う

中間部（0～2人）：内部と関係のある人々

名前	役柄（どんな人？どんな考え？）※考え方や立場の違いを詳しく
利用者さん(1人)	体が不自由、早く帰りたい。

外部（2～3人）：問題をもたらす人々、問題を混乱させる人々

名前	役柄（どんな人？どんな考え？）※考え方や立場の違いを詳しく
方の避難している人トウ()	佐々木さんの身内。 佐々木さんの悪口を言う。 (母の面倒と見たいで 利用者の面倒と見たいか?) 佐々木さんの母は認知症で

対話劇をつくる STEP 3

ワークシート③ プロットを考える

シーンごとに
登場人物の出入り
伝えたい情報を整理する。

【対話劇を創ろう】ワークシート③プロットを考える

プロット例	プロット①	プロット②	プロット③	プロット④
↓舞台上に出ている人（出入りは「→」で書く）				
「1人しかいない」「舞台が変わる」は禁止				
↓伝えたい情報・エピソード（誰を登場させて、何を観客に伝えたいか？）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ここはふたば未園 ・今日は入学式 ・校長先生がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先 草野小 教室 ・今日は震災から5日目 3/16 (水) ・Bが利用者の介護をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災生活をしている ・不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所と病院の受け入れかできるが電話をしている佐々木さんが登場 ・病院の受け入れはできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bは家に帰りたい ・Aは家族と利用者がどちらを優先するか迷う?
プロット⑤	プロット⑥	プロット⑦	プロット⑧	プロット⑨
↓舞台上に出ている人（出入りは「→」で書く）				
「1人しかいない」「舞台が変わる」は禁止				
↓伝えたい情報・エピソード（誰を登場させて、何を観客に伝えたいか？）				
<ul style="list-style-type: none"> ・佐々木さんの母が認知症で周りに迷惑をかけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐々木さんと話し合いがしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・B, Cは帰りたい ・母の世話をしなくていいの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐々木さんがこまっている ・不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ可能な病院が見つかる。

対話劇をつくる STEP 4

ワークシート④ 台本作成

プロットごとに
台本を作成する。

プロット (①)
舞台に出ている人 (出入り含む) 堀川(上層部賛成) 清野(上層部反対) 後藤(内閣府の人)
伝えたい情報/ エピソード 〇3月15日「Jヴィレッジ」 <small>天然芝グラウンド</small> の清野と後藤が堀川を 探している

役柄
堀川
後藤
堀川
後藤
堀川
清野
後藤
清野
堀川
清野
後藤
堀川
清野
後藤

セリフ
 今日で原発事故から4日。大阪から来た俺には仕事
 がなくならなキヤグラウンドをどうするかどうでもいい
 だけども
 (後藤が入ってくる)
 ああ、どうもどうも
 ああ、どうも！どちらさんですか？
 内閣府の後藤と申します。国からの指示でまいりました。
 ああなるほど「Jヴィレッジ」の堀川と申します。
 どうしたんですか？
 実はですね……
 堀川さん！
 おお清野。今お客様がきたぞ！
 (後藤をみる) ああ、ここにちは、「Jヴィレッジ」の清野と
 申します。
 内閣府の後藤と申します。
 はあ……内閣府ですか……
 とりあえず、内容を聞きましょうよ。

成果発表会

12月6日(金)

会場:本校みらいシアター

地域の方々を招待し、フィードバックをいただく。

生徒投票により、最優秀賞および校長賞、オリザ賞等を決定する。

最優秀賞作品は英訳し、ドイツ研修にて発表。

成果発表会



平田オリザさん
(青年団主宰 劇作家・演出家)

日時:12月6日(金) 8:50~16:35
会場:ふたば未来学園高等学校 みらいシアター

私達1年生は、7月の「産業社会と人間」からスタートし、観劇体験の観劇インタビュー、異文化WSなどを通して地域が抱える課題と向き合ってきました。いよいよ最大規模となる演劇発表です。各組がインタビューしてきた内容をもとに、平田オリザ先生をはじめとする観劇のみなさんと共に約一週間かけて演劇を作り直した。是非ご覧ください。

1組 (8:50~10:20)

- 1組: 株式会社 岩手県信用組合
- 2組: 株式会社 岩手県信用組合
- 3組: 中野防犯・福祉社会事業 (株式会社 JEBCCO)
- 4組: 中国防衛工研情報センター
- 5組: 海PO ハッピーロードネット

1組アドバイザー: 山本理恵さん
(青年団・俳優)



2組 (10:30~12:00)

- 6組: 茨城県地方銀行 刈羽支店
- 7組: Jリーグ
- 8組: 中野防犯・福祉社会事業 (株式会社 JEBCCO)
- 9組: 中国防衛工研情報センター
- 10組: 海PO 岩手県、119番隊
- 11組: 北野こども館

2組アドバイザー: 熊そらみさん
(ガレキの太郎主宰・脚本家・演出家・俳優)



3組 (13:00~14:30)

- 12組: 花巻中学校
- 13組: 花巻市立みどり小学校
- 14組: 花巻市立みどり小学校
- 15組: 花巻市立みどり小学校
- 16組: 中野防犯・福祉社会事業 (株式会社 JEBCCO)
- 17組: 海PO 岩手県、119番隊

3組アドバイザー: 森内美由紀さん
(青年団・俳優)



4組 (14:30~16:00)

- 18組: 日本赤十字社 高野病院
- 19組: 本戸川総合病院
- 20組: 海PO 岩手県、119番隊
- 21組: 北野こども館
- 22組: 中野防犯・福祉社会事業 (株式会社 JEBCCO)
- 23組: 中国防衛工研情報センター

4組アドバイザー: 村田牧子さん
(青年団・俳優)



演劇 振り返り

チームごとに
演劇週間の
気持ちの変化を
シェアする。

15 班

自分達のチームを振り返ろう

始める前は主に男子
メンバーを近寄りたたく
感じてた。(知らない)

I wish
演劇を作る前は
私より多く本気でいい作品が
できると不安な。

プロットを見せにいくとき
いないメンバーがいて
いけなかった。
少しイラついてしまった

集まりが悪かった
(集まるとはいいときにも集まらず
リハ練習もできずに行か
ないときもあった)

あんまり
やりたく
なかった。

Before
私よりか
ぜんぜんなかつた

before
私よりか
なかつた

賞まで取った

after
団結してきた

after
私よりかすばらしい
くらいあった

新しい一面を発見できた

Before After

I wish
チームの人と
仲良くなった。

自分の気持ちを
表現したい。

I wish
もっと演技にかまを入れ
ば良かった

I wish
もっと表現してあげ
よかつた

I like
みんな協力してできたと思う。
かなしいアタマで頑張った。
意外にもスタート本番の
リアクションがよかった...と思う。

やるべきはわかるが
練習には参加
してなかった

1日目

○今日の感想をひとこと!
大変だったけど、よいげきとつとめのために
これからがんばりたいです。

★次回への意気込みをひとこと!
楽しかった。
班で協力してげきのきこう^{きこう}
考えることができた。

○今日の感想をひとこと!
他の人達がすごいなよりになって
助かる

★次回への意気込みをひとこと!
次回はちゃんと活動します。

○今日の感想をひとこと!
最初の構成を考えるのに時間がかかりました。
けれど、アロットは一発合格できたのどううれしかったです。

★次回への意気込みをひとこと!
意見交換をたくさんして、効率よく進められる
ようにしたいです。

○今日の感想をひとこと!
難しい

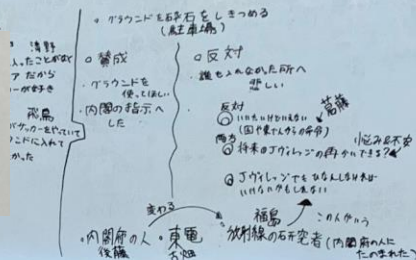
★次回への意気込みをひとこと!
打倒アワサ!!!

2日目

○今日の感想をひとこと!

一週間も体がもたない気がする

<理由>



ま・り・さ・つ

○今日の感想をひとこと!

予想以上の作業が進まない。

○今日の感想をひとこと!

けっ、どう否定されても、上手に可なり作業。

班に少し、まとまらねたので、もう少しまとまて、
今日よりもスムーズに進められるようにしたいです。

3 ~ 4 日目

十分 ◀ 5 4 3 ② 1 ▶ 不十分

○今日の感想をひとこと!

思ったより大変でした。

問題の提示が難しく、あまり進めることができなかった。

★次回への意気込みをひとこと!

時間に制限があることをもう少し考えて進めようと思います。

班の皆の意見をまとめることを意識しようと感じました。

○今日の感想をひとこと!

初めての演劇作りはとても難しいと感じた。

いろんな意見も出てまとめるのが大変だったが楽しかった。

★次回への意気込みをひとこと!

もっと積極的に取り組む!

時間を有効に使う!

(リフレクションシートより)

- ・こんなに頭を使って考えたことはなかった。 ・もっと役に立ちたい。
- ・みんなが意見を出しやすい場所を作りたい。
- ・勇気を出して発言して、「ありがとう」の一言をもらえた。
- ・人に意見や、自分の考えを伝えることは難しい。
- ・話し合いが進まなくて気まずいことがあった。次は人任せにしない！
- ・昨日より、班の中の話し合いに参加できた。もっと積極的に頑張りたい。
- ・皆で協力できた。チームが一つになって行動できた証明。
- ・自分の意見をわかりやすく伝える努力が必要だと思った。
- ・平和にできるように頑張ろう・・・。
- ・意見をまとめて伝える⇒考える⇒全体で共有

15 班

自分達のチームを振り返ろう

始める前は主に男子メンバーを近寄りたく感じてた。(笑)

I wish

演劇を作る前は
私より多く本気で作品が
できるの不安だった。

プロットを見せにいくとき、
いないメンバーがいて
いけなかった。
少しイラついてしまった

集まりが悪かった
(集まる、2人組の時に集まらず、
机横生れや壁に寄りか
かっていた)

あんまり
やりたく
なかった。

Before
私よりか
ぜんぜんなかった

before
私よりか
なかった

賞まで取った

after
開かしてきた

after
私よりかすばらしい
くらいあった

新しい一面を発見してきた

Before | After

I wish

チームの人と
仲良くなった。

自分の気持ちを
表現したい

I wish
もっと演技にかまらねば
よかった

I wish
もっと表現してねば
よかった

I like
みんな協力してできたと思う。

みんな2人で話さず2人で。
色々トモス4-5人で話さず
2人で話さず... と思う。

トモとまはかる？
練習には参加
してたの？
うん

成果と課題

生徒達にとって、分からないこと

○どこか他人事に感じてしまう、地域の問題

○その地域の問題と向き合い続けている大人の気持ち

○自分と違う考えを持つ人の気持ち



演劇にすることで、他者を演じ、想像してみる。

他人事を自分事として考えてみる。

「自分だったらどうだろう・・・」

自分達にできることは何だろう ⇒ 未来創造探究への接続へ

高校生と考える廃炉座談会

トリチウム水の処理や、放射性廃棄物の最終処分など、廃炉作業が進んでいく上で住民生活に影響が生じるのは自明だが、専門的で難しい課題について住民が共に考える機会が少ないことを課題として設定。東電や政府等の廃炉実行主体や専門家と住民が対話を重ね、社会的な合意を形成しながら廃炉を進めていくことを目指し「高校生と考える廃炉座談会」を主催。



地域交換留学

福島復興に関する県内外の問題意識の差の解消や、福島のみならず全国の地域課題を自分事として捉え行動する若者のエンパワーメントを目指して、福島と全国の高校生が互いの地域を訪問して問題解決のきっかけをつくる独自のプログラム「地域交換留学」を企画し実践。フィールドワーク、ホームステイ、未来予測データも活用した地域未来会議を意図的に組み合わせ、資金調達・参加校募集等も生徒自ら実施。



今後育てたい力

コミュニケーション教育からシティズンシップ教育へ
シティズンシップとは、エージェンシーである。

エージェンシーとは

「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」

「自分の人生および周りの世界に対して良い方向に影響を与える能力や意思を持つこと」

《シティズンシップ教育の背景と課題》より

- 積極的に社会参加する意欲が国際的にみて低い。
- 自分の力で世の中を変えられると考えている若者が諸外国に比べて少ない。
- 理念や概念の理解、情報活用能力が十分身についていない。

本校生徒の課題

地域と協働する力や行動力はあるが・・・

震災から9年・・・生徒達の中での震災の風化
生徒自身の知識不足（情報活用能力が低い）
地域の人達から聞いた話だけで満足してしまう。

物事を多面的・多角的に見ようとする力
批判的思考力 をもって身に付けさせることが
課題である。